

くりはし ともちか
栗橋 知愛さん (株)鹿角緑地
鹿角市



開放感のある現場で、向上心が高まる

■フォレストワーカー研修修了 ■ニューグリーンマイスター育成学校修了



写真上/1本1本の木を観察して倒し方を決定する
写真下/森の開放感がたまらない…

林業に就いたきっかけは?

親が林業会社を営んでいましたが、高校卒業後は、関東で車関係の会社に就職し、帰郷後は土木の仕事に就いていました。

その後、縁あって林業会社に転職し、基礎から修行をしていた頃、親から、自分の林業会社の後継者にならないかとの話がありました。当時から、地元だけでなく東京の現場も持つなど大変でしたが、決意を固め、今の会社に移りました。

仕事の内容と感想

現在は、伐倒の仕事が中心です。2つの研修制度を修了し、林業に必要な資格をひとつ取り取得したので、作業員の誰かが休んだとしても、臨機応変に対応しています。

林業という仕事は、現場が常に変わり、木1本1本の状態により、倒し方も考える必要があるため、飽きることのない、常に向上心が高まる仕事です。

今後の抱負は?

将来経営者になったら、会社の規模を大きくし、効率良く収益性の高い、社員全員が満足できる経営を目指したいと思います。

社長の息子だからといって甘えるのも嫌ですし、解らないことは人に聞き、率先して自分の出来る事をどんどんやり、現場は自らの足で調査して、全体像を把握するなど、自分の考えを持てる人になりたいです。

ここが林業の魅力!!

誰に気兼ねすることなく、開放感のある場所で、のびのび仕事ができるのが魅力だと思います。

また、自分自身で、作業方法を試行錯誤しながら、良い方向へ修正していけるのも魅力です。

HOLIDAY 休日どうしてる?

特に趣味はありませんが、基本的にアウトドア派なので、休日は家でじっとしていることは無いです。

車が好きなので、ドライブをしながら買い物をしたり、食べ歩いたりしています。

一人キャンプで料理にもチャレンジしたいですね。



すずき たかあき
鈴木 貴章さん (有)サンワーク三浦
秋田市



作業方法を自分で決められることができ、やりがいがある!

■フォレストワーカー研修修了 ■ニューグリーンマイスター育成学校修了



写真上/林業機械で路網を開設中
写真下/「自然」の中で「機械操作」。どちらも好きだから毎日が充実!!

林業に就いたきっかけは?

前職は、大手工場の配管などの保守・メンテナンスの仕事に就いていました。

職業訓練ポリテクセンターの住宅リフォーム課に入り、そこで木に触れ、木の風合いに魅せられて「木ってどうやって板になったのかな」と素朴な疑問が沸きました。調べていくうちに、林業という業種を知り、研修後は住宅関係ではなく、林業の仕事を選びました。

仕事の内容と感想

会社に入社して10年目を迎え、現在は班長として、作業進捗状況のチェックや安全管理、重機操作等作業全般で頑張っています。

機械の操作が好きなこと、自然の中での仕事なので、毎日が充実しています。若い人が多い会社なので、活気がありますね。

林業をやってみようかと思っている方!素人でも来てても、先輩が丁寧に教えてくれるので心配いりませんよ!

今後の抱負は?

弊社は、他の会社と比較しても機械の導入が進んでいるので、より効率的で充実した仕事のやり方に進化していくと思います。

今後は、ますます意欲的に楽しみながら業務に邁進したいです。班長として、現場全体に気を配りながら、会社を引っ張っていける存在になりたいですね。

ここが林業の魅力!!

作業方法の答えが一つではないところに、すごく魅力を感じます。

基本の方向性はありますが、自分で仕事の手順や方法を考え、ひとつずつ答えを確認しながら進んでいくところに面白さ、やりがい、達成感がありますね。

HOLIDAY 休日どうしてる?

渓流釣りや海釣りですね。

渓流釣りでは、林道を走行しながら自然の景色を眺め、下車後はおしゃべりをしながら釣り場に着く、この一連の道程も好きです。

最近は子供とマウンテンバイクやスポーツクライミングで遊ぶことが多いですね。



林業の魅力

こまつ りゅうた
小松 竜太さん

本荘由利森林組合
由利本荘市



日々目標をこなす達成感がたまりません!

■林業大学卒業 ■フォレストワーカー研修修了 ■ニューグリーンマイスター育成学校受講中



写真上/プロセッサを黙々とこなすのが好き
写真下/チェーンソー伐倒は林業の醍醐味

林業に就いたきっかけは?

私はパソコンが好きで、高校ではプログラミングを学び、卒業後は県外就職も考えていましたが、父と祖父から「林業の仕事」を猛烈にプッシュされたこと、秋田林業大学が開校するタイミングだったことが大きいです。

また、代々受け継がれてきている家の所有林を、父と祖父から託されたと思い、これも親孝行だと受け止めました。

仕事の内容と感想

就職後、約1年半位は、フォワーダでの運搬と林業の基本である伐倒をみっちりやりました。

現在は、高性能林業機械のプロセッサで仕事をしています。

若い人は、林業機械の操作をすぐ覚えてしまい、飽きると言う人もいますが、私の場合は黙々とこなしていくのが好きなので、毎日充実しています。

チェーンソーでの伐倒は林業の醍醐味ですが、1本1本の判断を求められ、難しいんですよ!。

今後の抱負は?

高性能林業機械のオペレーションに精通すること、伐採現場では、自分のポジションだけでなく、全体の進捗状況を常に頭に入れて動くこと、作業状況の説明能力とコミュニケーション能力を高め、山のプロフェッショナルを目指し、全ての仕事をこなせるように頑張りたいです。

ここが林業の魅力!!

連携は必要ですが、林業の仕事は基本的に1人で行うので、割と自分の判断でできるし、1日の成果が目で確認できるので、やりがいと達成感があります。

仕事のオンとオフがはっきりしているのも魅力ですね。

HOLIDAY 休日 どうしてる?

父がTDKサッカー部の監督をしていたので、私は小・中と父から指導を受け、高校は秋田商業サッカー部、現在も休日は地元チームでサッカーを楽しんでいます。

22才頃からは、地元・日枝神社の神楽の舞手として練習もがんばっています!



さいとう けいみ
齊藤 恵美さん

黒沢林業(株)
横手市



大好きな自然の中で、やりがいを感じながら充実した毎日!

■ニューグリーンマイスター育成学校修了



写真上/グラブ操作もお手のもの
写真下/経営者として現場で指揮をとる

林業に就いたきっかけは?

父が一人親方をやっていたので、私にとって「林業」は身近な職業でしたが、「男の仕事」というイメージしかありませんでした。

しかし、長く勤めていた会社を辞め、ハローワークで重機の資格取得を勧められた時、林業機械の操作は、女性の私でも出来るのではないかと考え、現在に至っています。実際、林業は性別に関係なく出来る仕事だと思います。

仕事の内容と感想

父の引退を機に、黒沢林業を法人化し、現在、私は会社の代表として経営を担っていますが、現場ではグラブで土場の仕事、時にはハーベスタで丸太の玉伐等を行っています。

山の仕事はきついと思われがちですが、そんなことはありませんね。伐倒する時は木を見て、どういうふうに倒すかといった、自分の判断が求められる、やりがいのある仕事だと思います。

今後の抱負は?

経営者として、従業員がこの会社に入って良かったと、自信を持って話せるような会社になりたいです。目標は、父が経営していた時よりも儲かる会社ですね(笑)

当社には、十分経験を積んだ先輩がいますし、女性も活躍しています。若い人が入ってくれば、大事に育てたいと考えています。

ここが林業の魅力!!

林業の魅力は、なんといっても自然の中で、爽やかに仕事ができるということにつきまね!

そして、健全な山林を自分たちの子孫へバトンタッチするという役割を担っていることに、誇りを持っています。

HOLIDAY 休日 どうしてる?

大自然の中で幼少期を過ごした私は、ふるさとの山河から、言葉では言い尽くせない恩恵を受けて育ったので、息子にもたくましく、自然が大好きな感受性豊かな子に育てたいと思ひ、できるだけ親子で自然の中で過ごしていることが多いですね。



まかせて

さごう たかひろ
佐合 貴浩さん 32歳 (株)西村林業
鹿角市



開放感、最高!! 伐倒シーンは感動的です



写真上/切り株からも伐倒方法や木の成長など学ぶことが多い
写真下/苗木の植栽作業

林業に就いたきっかけは?

高校を卒業してから短大に進み建築の仕事を目指していましたが、24歳からホテルに就職し、主にボイラーに係わる仕事をしていましたが、新型コロナの影響で会社を退職せざるを得ませんでした。そんな時、友人から、地元の林業会社で若い人を募集しているとの情報を聞き、自然を相手にする今までとは真逆の仕事にチャレンジしてみたいと思いました。

仕事の内容と感想

現在の私の主な仕事は、スギ苗の植え付けと伐倒の補助業務です。前職がホテルでの館内業務だったので、陽の光を浴びる外での仕事に慣れていました。実際、働いてみると、解放感・爽快感は格別でしたし、運動量も多いので体力もつき、健康的な体になったなあと思っています。仕事の内容面では、自分のイメージよりも遙かに機械化が進んでいて、毎日圧倒されています。

今後の抱負は?

今は「緑の雇用」フォレストワーカー1年次生として、林業の研修を受けていますが、積極的に学び、林業機械の資格を取得し、一人前の仕事をこなせるようになりたいです。特に、林業を俯瞰的にとらえる事が出来る技術者を目指したいです。

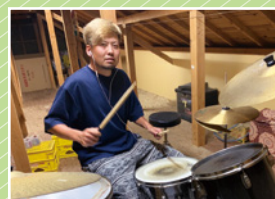
ここが林業の魅力!!

なんと言っても冬の伐倒で感

じたスケールの大きさです。冬の静かな山の斜面にドーンという音がこだまし、舞い上がる雪煙と共に、大迫力で木が倒れるシーンが、今でも脳裏に焼き付いています。複数の林業機械を駆使して、作業の進展が日々感じられるところも魅力です。

休日 どうしてる?

高校時代から20代後半まで高校の仲間とロックのバンドを組み、自分はドラマーとして花輪のライブハウス等で活動していた時期があります。現在は活動しておりませんが、休日はたまに息抜きも兼ねて自宅でドラムを叩いて過ごしたりしています。



まかせて

ななかた りょう
中田 遼さん 24歳 能代運輸(株)
能代市



作業方法を決めるのは「自分」という、やりがい!!



写真上/次の工程を考えながらグラップルを操る
写真下/フォワーダに積込中

林業に就いたきっかけは?

私は青森県出身で、父が林業会社に勤めていた影響もあり、森林科学科のある青森県内の高校へ進学しました。当時、授業の一環として見学した「日本伐木チャンピオンシップ」で、定めた方向に正確に木を伐倒している様子や、真剣な姿に憧れを持ちました。そこで、より高度な知識を得るため、当時、東北唯一の秋田林業大学校に入校し、林業の道に進みました。

仕事の内容と感想

自然の中での仕事は、四季の表情や天候の移り変わりを肌で感じ、爽快で気持ちが良いのと同時に、暴風雨や豪雪など厳しい環境であるとも思えます。仕事の内容としては、作業道の開設、伐採、集材、造材、搬出のサイクルですが、自分の作業をどのように行えば、次の工程がやり易いか常に考える必要があると思っています。日々感じることは、林業の奥深さですね。

私は、この道で行くんだと覚悟を決めているので、難しい作業や問題、課題を一つ一つ解決しながら、充実した毎日を送っています。

今後の抱負は?

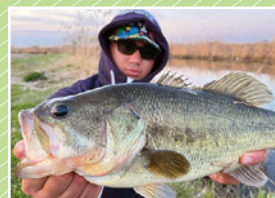
ハーベスタによる造材や作業道の作設など、一連の作業が出来るようになりたいです。その上で、それぞれの技術に磨きをかけ、最終的には林業のスペシャリストと呼ばれたいですね。

ここが林業の魅力!!

現場毎に作業の方法は違いますし、人によっても作業の考え方や方法が違います。そこが奥深さの所以です。現場をどう見て、どう判断し、どう実行するのかは全て自分次第です。そこにやりがいと魅力があると思います。

休日 どうしてる?

一人暮らしなので誰に気兼ねすることもなく、のんびりと過ごす事が多いです。趣味は釣りで、八郎湖へバス釣りに出かけることも多いです。最近は、会社の仲間に手ほどきを受けながら海釣りもしています。



林業の魅力



まかせて

こまつ まひろ
小松 真尋さん 22歳

小笠原林業(有)
由利本荘市



自分の成長を感じられる瞬間が最高



写真上/木の状況を見極めて伐倒する
写真下/機械のメンテナンスもしっかりと

林業に就いたきっかけは？

私は、屋外で仕事をしたかったので、高校卒業後、大工学科のある仙台の専門学校に進み、設計や木材の加工技術等建築を学びました。卒業後、他県で就職しましたが、いずれは秋田に戻り木に係わる仕事に就きたいと考えていたところ、HPで今の会社にたどり着きました。面接で性別は関係なく、やる気と能力重視が企業ポリシーであることを聞き、即決しました。

仕事の内容と感想

入社から約1年半、伐倒を中心にやってきました。男女の体力差は多少あると思いますが、特に気になりません。実際の山の現場は、場所によって、それぞれ状況が違い、基本技術と応用力が常に求められると感じています。そこをクリアする毎に、やり甲斐を感じています。

高度で的確な人の技術が必要だと思っています。混み合っている木と木の間に狙い定めて倒せた瞬間は、本当に最高です。それに、林業機械の操作に関して言えば、性別は全く関係なく、日々の努力とやる気で上手くなっていくのが解り、ちょっと嬉しいですね。

自然の中での仕事は、女性にとっても魅力的な職場だと思います。

今後の抱負は？

4月から、入社わずか1年半の私が、現場の班長に抜擢されました。重責を感じますが、経営者の意図を的確に捉え、学生時代の生徒会での経験を活かしながら、全体に目を配り頑張っていきたいと思っています。もちろん、防災事故ゼロです！

ここが林業の魅力!!

今の林業は機械化が進んで、作業効率も安全性も大幅にアップされたと思います。基本的なチェーンソーでの伐倒に関して言えば、

休日 どうしてる？

休日は愛犬たちと遊んで過ごすことが多いです。あとは普段、外仕事なので休日は家の中のんびりとビデオで映画を見たり、時にはYouTubeで林業の動画を見たりしています。



まかせて

いとう りゅうたろ
糸井 龍太郎さん 29歳

(株)糸井林業
仙北市



日々爽快感と達成感を味わえます



写真上下/将来の経営者を意識して現場業務を修行中

林業に就いたきっかけは？

大学では経済学を専攻し、会社経営の基礎を身につけました。卒業後は、サラリーマンをしていましたが、自ら起業し会社経営に取り組んでみたいという夢が強くなりました。一方で、家業を継ぐことを強制されはしなかったものの、秋田に戻り会社を継ぎたいという気持ちもあり、自らの決断で林業の世界に飛び込みました。

会社経営の夢と、家業を継承

し発展させていくという私の目標を尊重してくれる両親には、とても感謝しています。

仕事の内容と感想

今は、主に伐倒、集材、土場での仕分け作業をしていますが、根幹である山や木の価値を見極める目や感覚を養うことも大事だと考えています。社長である父や、経験豊富な先輩の指導を受けながら、褒められたら少し喜んで、怒られたら大いに反省して、少しずつ前に進んでいきたいと思っています。

今後の抱負は？

一連の現場作業をこなせるようになること。現場を知ることにより、林業生産の課題や改善点を理解する必要があると思っています。その上で、自分も会社の皆も家族も含めて、皆が幸せになったら良いと思いますし、そうなるよう努力していこうと考えています。

ここが林業の魅力!!

林業の魅力は、好天の日の爽快感ですね。眼下に広がる仙北平野を眺めての昼食は最高です。魅力の二つ目は1日の作業の成果が目に見えて解ること、三つ目は残業が無いことです。弊社の終業は午後3時なので、その後の時間を有意義に使っています。

休日 どうしてる？

休日は音楽が好きなので大学時代からサークルでやっていたギターを弾いてリラックスしています。山菜の季節になれば、おばあちゃんと山菜採りです。

